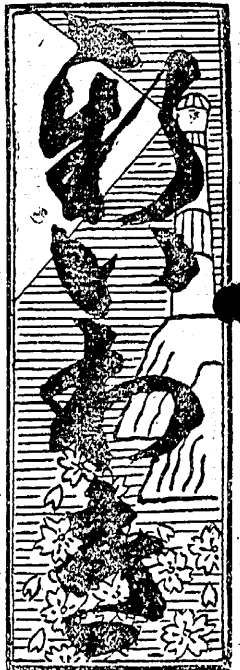


日十三月七



日刊但し日曜祭日
日休一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五
原稿料一ヶ月廿五

常識講座

アンコンシアスは無意識の無意識的なの意でアンコンシアスでは加はつてゐたのが遂に深入りさせられて了つた其の知らず知らずのうちに云ふのをアンコンシアスと云つてゐる

一、寺院名 場所 宗派名
本山 開山 縁起(歴史)
檀家戸数 信仰の模様 寺
院の所在地並に其の他財産
講の有無 寶物の有無 参
考等(以上)

〇四、二一、六丈二寸〇
四減、一、六本増
で各生共に縦に伸びず横に殖
えてゐる而して縣の平均有効分
限定期間なるものは七月十四
日から十六日に至る早中晩の
三段に分けられてゐるが渡邊
り方は是より遅れるのが當
然で加之分限の有効期其の年
の天候の遅速にも期限的に大
なる影響があり本年の如く海
陸共に約二週間遅れてゐると
見られるものに徴しても管理
に宜しきを得れば本年の米作
は憂ふべきでなかりそうだと
云はれてゐる

磐城セメントの
道場開き
石城郡四倉町磐城セメント製
道部では従業員約二千五
百回で六十坪の演武場を建設
昨二十九日落成披露を兼ね
道大會を開催したが七十餘名
の剣士が華々しい合戦であ
つた

片濱線の實現を見越して
泉小線の敷設陳情

小名濱と泉方が結束して
片濱通りも共に希望

平小鐵道の路線は地方産業開
發の國策上片濱通りになすべ
きあるとの輿論は昨報の如く
鐵道側にありても運輸交通の
區域の狭い而かも行止まりの
短かい路線で算盤の採れた實
例に乏しく斯くて大局から見
て理由の少ない湯未廻りは漸
次形を傳へられてゐる
が小名濱及び泉村方面に於て
は早くも片濱線の實現を見越
し第二の希望として小名濱、
泉間の連絡を主務省に陳情す
る模様であるが同路線も片濱
通りを通過することに於て無
限の海産物その他を東部方面

に輸送する實の必要から當然
敷設されるものと見られ若し
湯本線が出来れば湯本、小名
濱間は水久に古物的存在とし
て姿を絞けるのみで片濱通り
は斷然開發を惹きつけ小名濱
泉間の連絡も自然不可能を豫
想するに難く湯本線の主務
省側に根本から反對して居り
奪取運動に理由の乏しい湯本
側が昨今片濱通りは省營バス
が出来ればよからうと唱ひて
ゐるものに對しても省營バス
こそは必要があれば湯本、小
名濱間に動かすべきだと囁つ
てゐると

山採炭運轉機機部主任布谷
丑之助(四八)は昨二十九日午後
一時四十分頃同機六坑内で機
械の故障を修理作業中感電し
て即死した

明後日から
ラヂオ体操
無欠席者に記念品
國民保健に理想的と云はれる
ラヂオ体操は平町及び同郵便
局並びに各學校その他の主催
で例年の如く来る八月一日か
ら同月二十日まで第一、第
三兩校庭に於て毎朝催される
集合時間は午前五時五十分ま
で体操は同六時から約三分
で体操は同六時から約三分
放送に合せて行ふのだが多数
の参加を歓迎されてゐる尚ほ
本年は各自所持の参加票に二
十日間無欠席であれば郵便局
から記念品を贈る由である

貝焼の冷凍製造
日本工業小名出張所の計画
石城の各濱から産出するウニ
の貝焼は夏季に於て殊に腐敗
が早くその爲め遠地への移出
が出来ず販路擴張に大なる困
難を唱ひられてゐるので小名
濱町日本工業出張所では先進
地に於ける製法を参考として

好順無類の土用に
水稻發育益々良好
海陸共に遅れた今年の天候
育ち遅れ異状なきと

山田縣議良好
平町新川町北川醫院に入院加
療中の縣議山田六郎氏の負傷
は豫後の経過思はしからず一
時危殆視されたが今三十日は
頗る良好に向ひ近親は勿論知
友一同を安堵させた

石炭酸で自殺
石城郡江名町の江名風越五〇
五松翁父小泉春吉(六八)は去る
二十八日夜無断家出捜索中
あつたが翌二十九日午前十二
時頃自宅裏なる稻荷神社境内
に死体となつてゐるのを發見
平署の検視で昨夜十時頃石炭
酸百五十グラムを嚥下自殺し
たものと判つた原因は老衰と
家庭の事情で世を厭ふたもの
と由である

丑の日一日で千貫余
牛豚馬卅頭をへり

勿驚平町に於ける今日の消費
總額二千二百九十圓

今卅日の土用丑は恒例食によ
り平町内の各肉店を繁昌させ
たが全町に於ける肉の消費量
は丑の日になつてならぬ牛肉
が最高で屠數十頭この付付が
百貫切賣量を八掛として四百
貫に達し百貫平均三十五錢つ
ゝとして一千四百回次へで豚
肉は十四頭屠殺を以て賣肉量
百四十貫この百貫平均を同じ
く三十五錢に見積れば四百九

十圓おききの馬肉は六頭の屠
殺で賣肉二百貫、平均二十錢
(百目)と見て四百圓合計一千
九十貫總額二千二百九十圓
を一日に平けたのだから一掃
みづの密の運びも積れば大
きいものである

入山採炭機械部
主任感電即死
石城郡湯本町の辰の口二五入

磐中軍の山形行
多数見送て出發
昨夜はマルトモで歡送會
秋山主將外十六名一行

宿題
磐女夏休みの
郡下の寺院調査

筒氣焰
首物語 上
大森 勇

小麥も高騰
菜種の騰率に同じく
石城菜種の三等値が昨年よ
り二圓十五錢高い一俵十圓五
二減、莖〇八本増▲中一
尺〇一四、二四本八(二尺
二二八、三三本九)丈二寸
一四減、一、三本増▲晩生
一尺五九五、二五本(一尺
八三〇、三三本四)丈二寸
三四減、一、六本増▲平均
一尺九、二三本二(二尺一

今晩は北の風、晴
明日は北東の風、晴(後曇)
(小名濱測候所)

産業方面

蔓割病豫防に 新薬劑 (上)

水溶性クロール
ピクリン創製

瓜物類の栽培の強敵である蔓割病の豫防方法は従来植物病理學者達によつて研究されて來たのであるが未だに適切な方法がなく大に遺憾とされてゐたところ今西崎玉縣立農事試験場越ヶ谷分場に於ける園藝部主任古川健男氏によつて同氏が昭和四年以來研究に着手し實驗を重ねた結果催涙性瓦斯の一種である「クロールピクリン」を主劑として配劑したる新薬劑「ジヨードサイド」別名「セイドリ」水溶性クロールピクリンが最も偉効あることを發見し其の實驗の結果を去月末帝國農會に開かれたる全國西瓜出荷統制協議會に於て發表されたのであるが、

此の新薬劑を二百倍乃至三百倍の水に溶解して瓜物に發生せる蔓割病の患部を小刀のやうなもの、先きで削り節を一回塗布すれば翌日は乾燥して患部は次第に以前の狀に復し結實、收獲を見る事が可能だと保證されてゐる従來に於ける試験にありてはメロンでは七割西瓜に於ては八割まで病に罹かされても立派に回復することが出来ると云はれてゐる、

此の實驗成績として述べられたる點を掲ぐれば、

(一)群馬縣の邑樂郡多々良村に於ける一農家は昨年十年六月七日西瓜圃一反歩のうち四割まで蔓割病に罹されたのである、

暑中御伺

砂利採取販賣部 平町駅前通り
自動車運輸部 電話六六五番

植田町 植田水力電氣會社

石城郡 兒玉萬平

石城郡好間尋常高等小學校 職員 一 同

大黒屋 青木恒纓
電話三三七番 又電話(アツ)七番 呼出(アツ)七番

洋品雜貨 化粧品 フジヤ洋品店
平町四丁目

佐藤齒科醫院
平町五丁目 電話五〇八番

常磐線一貨物 吉自動車部
植田駅前 電話長四六番

中央火災傷害保險株式會社代理店
天 秋山市造商店
建築請負 常磐線植田町本町 電話六一二番

石城郡 安田藥局
植田町 電話十三番

石城郡 常磐自動車合資會社
青田目信次郎

湯本信用無盡株式會社
石城郡 湯本町 電話四七番
電話(振替)七九六四番

江藤武一郎
石城郡川部村

茨城縣 大敷事務所
平湯町

お子様 種々 万力カネマン商店
平町駅前

ワイシャツ
ポイル ¥ 2.30
麻 ¥ 2.40

1937 年型流行手編製
両面兼用 ネクタイ
毛と絹交織 ¥ 2.50
毛 ¥ 3.00
本絹 ¥ 3.30

ガソリン モーター油
日本株式會社 特約販賣

油問屋 關内油店
支店 電話長三二八
支店 電話長三二八
支店 電話長三二八
支店 電話長三二八

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇
平町南町 電話二五八番

産科 婦人科 院長 木村寅次郎

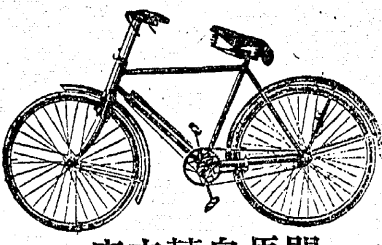
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄

平町新川町九一
入院隨意 病室完備 木村病院
電話一六四番

親切・丁寧・迅速

三拍子揃つてゐる店

能澤の自動車代理店



目下六 店車轉自馬門 町平

債券 公債 兩替 金融

多田井質店
平町大工町 電話五九二番

食事 喫茶 喫茶 酒場 余れた

平町 電話 352

レストラン サロン

強勉大豚 牛

牛、豚共に(百目)
卅錢、四十錢、五十錢
平町 六丁目 大塚肉店(電話五三九)
コロツケ(五十錢)
カツレツ(一ツ十錢)

金剛示口 金大 問屋
質と低 質と高
良品 廉價 恩恵は
繁栄の 源は
問屋 本
平町 電話 五〇七番

平町紺屋町 藤沼醫院

電 五〇七番
スペイン G.H.N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町南町 電話五二三番
院長 醫學士 高久忠